

講義科目	: 商法総則・商行為 (70期生)	単位数	: 2
担当	: 楠井 嘉行	学習形態	: 選択科目
		実務経験	: 有

講義の内容・方法および到達目標

商法総則・商行為に関する商法の規定と民法の規定との違いや企業取引実務を中心に学習する。商業登記簿や商業帳簿、企業取引に関する各種書式等を用いて平易に解説したい。企業取引実務に関するビデオ等を見て、知識をより深いものにする。

授業計画

商法に規定される商法総則・商行為の内容、民法との違いや各規定が具体的に適用される場面について学習しつつ、企業取引の具体的な実務を学習する。

- 第1回 商法とは、商法総則総論
- 第2回 商業登記、商号、商業帳簿
- 第3回 補助者、営業譲渡
- 第4回 商事売買
- 第5回 交互計算、匿名組合
- 第6回 仲立営業、問屋営業
- 第7回 運送営業、運送取扱営業
- 第8回 場屋営業
- 第9回 倉庫営業
- 第10回 手形小切手
- 第11回 手形
- 第12回 裏書
- 第13回 電子債権
- 第14回 手形交換
- 第15回 保険法

教材・テキスト・参考文献等

教材：担当教員が作成した授業用資料

- 参考文献：①「はじめての商法総則・商行為」（自由国民社）
 ②「スタンダード商法Ⅰ 商法総則・商行為」（法律文化社）
 ③「金融法務入門」（経済法令研究会）
 ※①は平成29、30年改正未対応なので注意すること

成績評価方法

レポートによる評価の予定。単位を心配せず授業をよく聞いて学習されたい。出席30%、レポート課題70%で評価したい。

実務経験

昭和60年4月弁護士登録。三重県信用組合金融整理管財人や金融機関の法律顧問等の経験を生かしてお話しします。

その他

企業取引で使われる書式のほか、実務に関連したビデオもできるだけ多く見て頂く予定ある。社会人となって有用と思われる企業取引実務を身につけてほしい。